



報道関係者各位

2019年11月5日

こころにスマイル 未来創造パーク
キタイワトビペンギンの赤ちゃんが2羽誕生しました！



2019年11月5日撮影

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）において2019年10月31日（木）・11月2日（土）キタイワトビペンギンの赤ちゃんが誕生し、ペンギン王国1階にて現在公開中です。当パークでは、事故で卵や赤ちゃんが押しつぶされることを防ぐため、温湿度の管理ができる孵卵器で卵を温め、誕生させています。赤ちゃんは体に力が付き始める（体重約100g）までスタッフの手で育て、その後親鳥のもとへ返し親子で過ごす予定です。

【キタイワトビペンギンの赤ちゃんについて】

1羽目

- 孵化日：2019年10月31日（木）
- 孵化体重：77.4g
- 孵化日数：36日間
- 性別：不明

2羽目

- 孵化日：2019年11月2日（土）
- 孵化体重：53.0g
- 孵化日数：37日間
- 性別：不明

※公開場所・時間：ペンギン王国1階 育雛室にて、開園から終日ご覧いただけます。

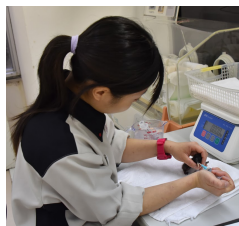
【親鳥主体の子育て方法にチャレンジ ～未来の繁殖を見据えて～】

2008年よりアドベンチャーワールドでは、キタイワトビペンギンの卵を親から預かり、孵卵器にて孵化させ、その後雛の体重がある程度成長するまで人の手で育て、体力をつけてから親鳥へ返す「初期人工育雛」を行っています。初期人工育雛中、親鳥には擬卵（石灰で作った偽物の卵）を抱かせ、まだ赤ちゃんが生まれていないと思わせます。赤ちゃんが約100gまで成長したら、擬卵と引き換えに赤ちゃんを抱かせます。

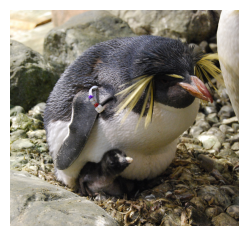
◆昨年の様子◆



擬卵を抱く親鳥



赤ちゃんに給餌するスタッフ



赤ちゃんとお過ごす親鳥



【アドベンチャーワールド ペンギンプロジェクトについて】

アドベンチャーワールドでは、1978年の開園時にフンボルトペンギンとキタイワトビペンギンの飼育を開始し、1990年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、1997年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

【アドベンチャーワールドのイワトビペンギン繁殖の歩み】

2003年12月：現在の飼育群の基となる個体7羽を南アフリカの水族館より搬入

2006年10月：初めての繁殖に成功（人工育雛により2羽育成）

2008年～：初期人工育雛による繁殖に成功

【キタイワトビペンギンについて】

- 分類：ペンギン目ペンギン科マカロニペンギン属
- 学名：*Eudyptes moseleyi* ■英名：Northern Rockhopper Penguin
- 生息地：亜南極圏の島々
- 寿命：約20年
- 食性：オキアミなどの小さな甲殻類や小魚やイカ
- 繁殖：岩場に大きなコロニーと呼ばれる共同の繁殖場を作り、巣を小枝や石で巣作りをする。
1～2個の卵を産卵することが多い。
- 特徴：両足をそろえた状態で、器用に岩場を飛び跳ねて移動することから「イワトビ」の名がついた。
頭部にある黄色の飾り羽が特徴的。